

視覚デザイン学科 webサイト

173092 細屋 花

確かな基礎造形力を身につけ デザインを横断的に幅広く学ぶ

あらゆる造形活動の基礎となる「観る」「描く」「創る」を、デッサンや色彩・立体構成などの実習を通して学びます。

この基礎造形実習（1年次学部必修授業）は年間を通じて毎日行い、全専任教員が指導にあたります。

確かな基礎造形力を身につけることで、その後の専門性を最大限に高めてゆくことができます。

基礎造形実習内容 「観る」「描く」「創る」



描写(静物)



描写(人体)



色彩描写



色彩構成



立体構成(グライダー)



- [基礎造形実習Ⅰ（描写）](#)
- [基礎造形実習Ⅰ（造形）](#)
- [基礎造形実習Ⅰ（素形材）](#)
- [基礎造形実習Ⅰ（デザイン）](#)
- [基礎造形実習Ⅰ（複合造形）](#)

達成目標

- ・ 授業、課題の意図、材料・用具の名称、使用法を認識し作業工程を理解・実践できる。
- ・ 1mm以下の誤差を確認修正でき、作業を正しい作法により行うことができる。
- ・ 展開図において正確な寸法取りで作図できる。
- ・ 定規・カッターの正確な扱いにより綺麗に切断ができる。
- ・ 接合部の辺の調整が適切にでき綺麗に接合できる。
- ・ 完成物の正確さ、美しさが理解できる。
- ・ 美しい線が引ける、正確な作図が出来る、ムラなく色を塗れるなど、精緻かつ丁寧な作業をすることができる。
- ・ 色彩の基礎を理解し、その知識を用いて作品制作ができる。
- ・ 授業で経験し修得したことを基盤に設定された時間内で十分に課題の意図に応えることができる。
- ・ 与えられたテーマを、習得してきた構成力、色彩計画による画面を自らの狙いの上に適切に実践することができる。
- ・ 制作時の各段階において指導される内容を理解し、正しく記録を取ることができる。

達成目標

- ・ 課題の指示を正確に読み取り作品制作ができる。
- ・ 作品発表に際して、制作意図を十分に伝えられる。
- ・ スケジュール管理をし、課題作品提出締切りまでに作品を仕上げる事ができる。

授業計画

- 01 ガイダンス 第1 課題出題、導入
- 02 アイディアチェック 制作
- 03 中間チェック
- 04 講評
- 05 発表、全体講評、提出
- 06 第2 課題出題、導入
- 07 中間チェック
- 08 アイディアチェック、制作
- 09 講評
- 10 発表、全体講評、提出

視覚基礎演習も楽しみだな～

早くここで学びたい！

